

令和元年度 水土文化研究部会企画セッション

江戸・東京を支えた坂東地域の〈水土の知〉

日時： 令和元年9月5日（木）
16時20分から17時50分

場所： 東京農工大学 府中キャンパス
第二講義棟 2階 2講-21（第9会場）

内容・講演者

- 1) 江戸のまちづくり計画が遺した武蔵東部低地の水ネットワーク
藤原梯子（認定NPO法人 水のフォーラム 理事長）
- 2) 「道路山水」に見る武蔵野の開発
広瀬 伸（水土文化研究部会）

企画セッションの概要

近世～現代まで首都であり続けてきた江戸・東京の繁栄は豊かな後背地によって支えられ、関東平野の開発はこの間、天下の一大課題であった。そこには荒れ狂う大河と茫漠たる原野という対照的な地域の特徴が明瞭で、個々の特徴に対応して進められた開発は、水と流通のあり方が鍵を握ってきた。本セッションでは、江戸・東京を支えた坂東地域の〈水土〉形成の特徴や課題、歴史的意義、現代への政策的インプリケーション等を議論する。

オーガナイザー：後藤眞宏（水土文化研究部会・農研機構農村工学研究部門）